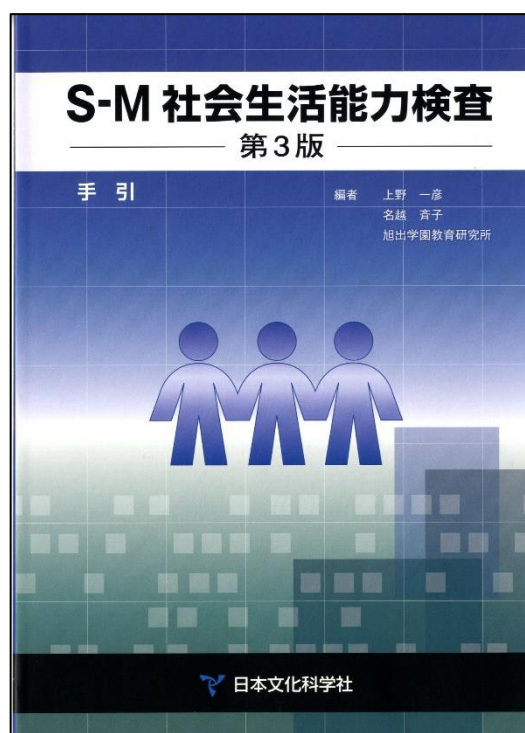


# 「S-M 社会生活能力検査 第3版」のご紹介

借用願を南砺市教育センターに FAX いただければ、市内の学校にレター便でお届けします。



検査用紙



手引

## 【特徴】

社会生活能力を「自立と社会参加に必要な生活への適応能力」と定義し、子どもの日頃の様子から社会生活能力の発達を捉える検査です。知的障害や発達障害などの特徴をもつ子どもたちへの指導への手がかりが得られます。

- 検査者が子どもを直接検査するのではなく、**子どもの日常生活をよく知っている保護者や担任教師が回答します。**
- 質問項目は発達年齢段階ごとに分かれていて、129項目で構成されています。
- 回答結果をもとに社会生活年齢（SA）と社会生活指数（SQ）が算出できます。
- SAはそれぞれの領域別※に求めることができます。
- プロフィール欄へ領域別 SA を描くことで、子どもの社会生活能力の特徴を視覚的に捉えることができます。（日本文化科学社 HP より）

※社会生活年齢（SA）の6領域

身辺自立、移動、作業、コミュニケーション、集団参加、自己統制